



-Smart Talkie-

-驚くべき音声入力によるテキスト翻訳できるデバイス-

活用方法についての説明

まず最初に [Smart talkie APP] のスマートフォンへのインストールについてのご説明します。

※スマートフォンで OS の確認をしてください。iOS 12 以降、Android 4.4.1 以降 対応です。

●iOS (iPhone)では QR コード(Fig1)か、ホーム画面の Apple APP store  より[Smart talkie APP]をインストールしてください。(検索は smart talkie と入力)

●Android では QR コード(Fig2)か、ホーム画面の  Play ストアより[Smart talkie APP]をインストールしてください(検索は smart talkie と入力)

QR code for iOS

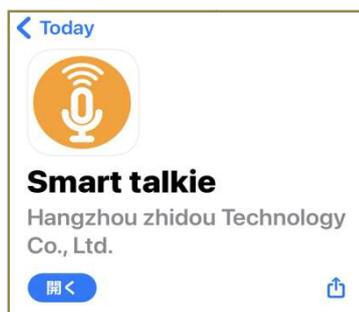


Fig1

QR code for Android



Fig2



App「smart talkie」インストール画面がでたら“クリック”



この画面から承認依頼がされますので順次クリック後取説に従ってスタートしてください。

活用編紹介

基本的な使い方については取説を参照願います

1: SNS(twitter,facebook,instagram,Youtube,Line,whatsApp,Meessenger…), Email, 等での Smart talkie の活用について説明します。Smart talkie を使用して母国語で SNS 等経由して 母国語で音声入力後テキスト翻訳され多言語の人とのコミュニケーションが可能となります。

iOs (iPhone)の設定から SNS への展開を説明します。Android も基本設定はほとんど同じとなります。

Step1 : 最初にホーム画面の Smart talkie アイコンをクリックしますと最初の画面がでてきます。(Fig3)



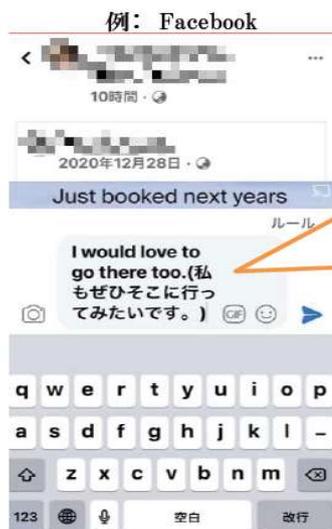
※「翻訳」ボタンをオン



Fig3

Smart Device

Step2 : ソース言語を母国語に選択、ターゲット言語を例えば英語を選択後、この状態を保って、ホーム画面に戻り、例として SNS の facebook のアイコンをクリック、



翻訳された言語とオリジナル言語が表示、音声入力した内容がきちんとテキスト化されてるかを確認！！オリジナル言語が不要な場合はその部分だけ削除してタップして送る

Fig4

コメント欄をクリック、この状態で **Smart device のボタンを押さえながらスマートフォンのマイクに向かって母国語で音声入力終了**後 約2秒経って smart device のボタンをリリースしますと Fig4 の画面の中のコメント欄に 翻訳された英語と母国語の日本語がテキストとして表示されます。

※ 同様な操作で 他の SNS も 試してください。

Step3 : 相手から返事が来た場合の対応方法について説明します。

母国語(テキスト化)で送って 相手から多言語で返事がきた場合に、意味が解らないときの対処方法を下記に説明します。

Smart talki にはコピー機能があります。この機能を活用して相手方にテキスト翻訳にて返事が可能です。手順は下記にて試みてください。

参考例(ソース言語:日本語、ターゲット言語:英語 設定)

Smart talkie の設定を Step 1 の状態で Email での英語での返事が Fig5 のように返事が来た場合、コピーする範囲を選択後「コピー」をクリック、即 smart Talkie 画面 Fig3 に戻りますと、先ほどコピーした内容が自動的に日本語翻訳とコピー文となって表示されます。



Fig5

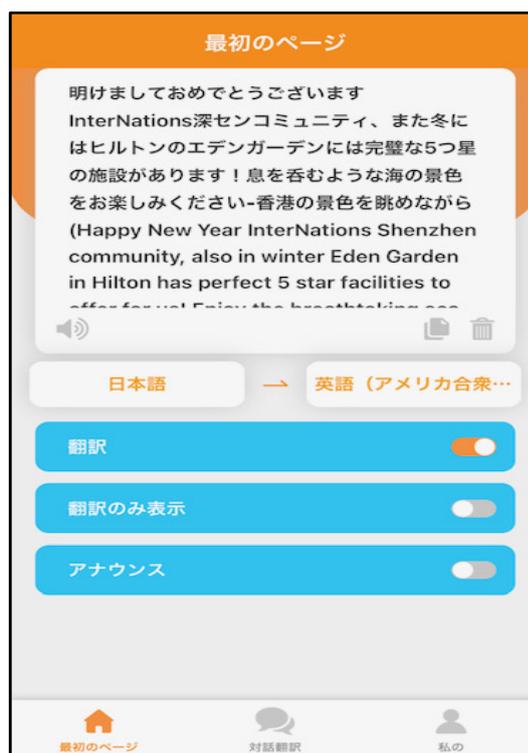


Fig6

相手の内容が確認できたら、もし返事を相手にする場合は Step1 で説明した手順で返信してください。同様 SNS でも このような対応が可能となります。

このように 母国語と 多言語とのコミュニケーションがスムーズに対応できる 優れたモノです。

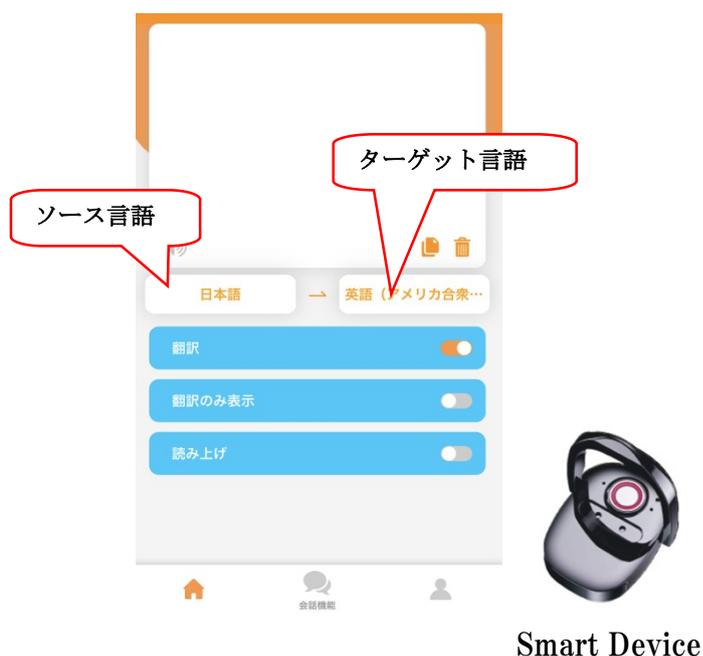
この機能が 他の翻訳機にはない 非常に優れた翻訳機となります。

2: Word,Excel, one note, フォトショット,メモ帳 等 このような App は音声入力可能でテキスト化できますが”Smart Talkie” は音声入力後テキスト翻訳された内容での活用が可能です。

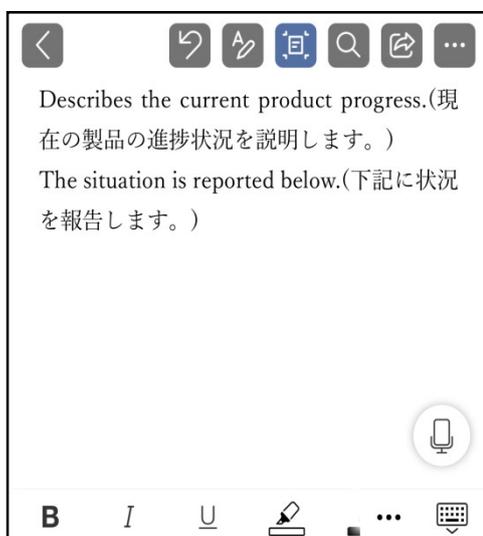
Step1: office word を例に下記に活用方法を紹介します。
基本設定は最初のページの Fig3 の設定条件で説明します。

参考例(ソース言語:日本語、ターゲット言語:英語 設定)

この状態で言語設定が終わりましたら、この画面を閉じて、office Word を開いて 新規白紙の文書を開き、カーソル位置を決めます。



Smart Device のボタンを押さながら母国語で音声入力 参考に下記のように
翻訳及び音声入力した日本語テキスト内容が表示されます。内容を確認後、日本語が不要であれば
削除 翻訳内容だけを保存、必要に応じてメール等に添付して相手方に送ることが可能



同様に他の App もこのように活用できます。

Step2：次にフォトショット での Smart Talkie 活用方法紹介します。
基本設定は最初のページの Fig3 の設定条件で説明します。

参考例(ソース言語:日本語、ターゲット言語:英語 設定)

この状態で言語設定が終わりましたら、この画面を閉じて、スマートフォンに保存してるフォトショットを開いてください。入力手順を説明します。

※ iOS と Android では入力形式が異なる場合があります。

参考： iOS (iPhone) のフォトショット

●マークアップツールが開き「テキスト」を選択、画面の真ん中に「テキスト」と書かれた囲みが出てきます。タップしますと「編集」となり、タップ この時点で入力可能となり **Smart Device のボタンを押さえながら母国語で音声入力**後、ボタンをリリース 自動的に翻訳内容と日本語が表記 不要な日本語を削除し、保存しますと Fig8 にて この画像を メール等に添付して相手方に送ることが可能で言葉と併せてより一層のコミュニケーションが図れると考えます。有効活用してください。



Fig7



Fig8

Step3： Smart Talkie より一層の活用について 説明紹介します。
基本 Smart Talkie はスマートフォンのマイクに向かって 音声認識後
テキスト処理後 AI サーバー経由で翻訳化というシステムになっております。

※オンラインで尚且つ 通信状態が基本 良好であるというのが条件となります。

このシステムを活用することで翻訳機能を活性化ができます。

● 動画配信で多言語でのニュース等を母国語に翻訳が可能です。

Step1 :smart talkie App を立ち上げて ソース言語、ターゲット言語をまず設定
動画配信の言語をソース言語で選択(例えば英語を参考に)、ターゲット言語を日本語に設定、画面を動画配信(Youtube 等に)に切り替えた状態で音声をスタートと同時に Smart device のボタンを押し続け、一区切り終わった段階後 数秒後にボタンをリリース、Smart Talkie App 画面に切り替えると結果、Fig9 のように翻訳された日本語と英語(動画配信言語)が表示されます。コピーアイコンをクリック、メモ帳とか Word に貼り付けして内容確認できます。



※：スマートフォンのスピーカーからの音源を 内蔵マイクがキャッチして音声認識しテキスト化され AI サーバーが認識、翻訳されてきます。動画配信音声再生する際には極力音を大きくして試されることを薦めます。

※：この機能で語学の勉強にも一役

Fig9

● PC のスピーカーからも この Smart Takie を活用して 動画配信からの音声をスマートフォンのマイク経由で 翻訳も可能ですが、PC のスピーカーの性能も若干影響があるのでこの点 留意ください。

例えばスマートフォンに取り込んで「ボイスメモ」等で音を録音後、音声クリアかを確認し、Smart Talkie App を立ち上げ、ソース言語、ターゲット言語を選択設定、「ボイスメモ」等で収録した内容を再生と同時に Smart device のボタンを押さえて 再生音完了後 数秒後にボタンをリリース、Smart Talkie App 画面を開くと 翻訳されたターゲット言語とソース言語が表示されます。お試しください。

※オンラインで尚且つ 通信状態が基本 良好であるというのが条件となります。

3: Bluetooth イヤホンでの Smart Talkie 使用方法紹介します。

基本 Smart Device を押しながら スマートフォンのマイクに向かって音声入力しますが、Bluetooth イヤホンを使いながら 音声入力することも可能です。

設定として 最初にスマートフォンで「smart device」をペアリング、その後に Bluetooth イヤホンをペアリング 実施、Smart Talkie App を開いて ソース、ターゲット言語を設定完了後、Smart Device ボタンを押さえながら Bluetooth イヤホンマイクから音声入力してください。(この場合 マイクボタンを押す必要はありません。機種によって機能がことなる場合がありますのでご注意ください)



参考:Bluetooth イヤホン デバイス名



※オンラインで尚且つ 通信状態が基本 良好であるというのが条件となります。